

【講演タイトル】四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクトへの思い

- 空海・祈り・支え合い -

プロフィール

1948年 徳島県生まれ 歌一洋建築研究所主宰 / 四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト主宰

1977年3月 歌一洋建築研究所設立

2001年- 四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト

1995年- 近畿大学文芸学部芸術学科助教授

近畿大学文芸学部芸術学科教授

所属/日本建築家協会、大阪府建築士会、ユニセフ

現代日本の建築家優秀建築選、日本の商空間デザイン賞、ログハウス建築コンテスト特別賞

日本建築家協会第1回四国建築賞、ウッドデザイン賞、東久邇宮記念賞等受賞多数

概要

空海が開いた「四国八十八ヶ所」霊場札所を巡拝する遍路道が四国全域にあります。祈りを体現した「お接待」と「循環性」と「同行二人」というカタチは世界でも類を見ません。その遍路道 1400 km に、お遍路さんが休憩できる「へんろ小屋」を 2001 年から約 20 年かけ、ボランティアで 89 棟造っていくプロジェクトです。

小屋は歌一洋が設計し、造る過程も大切にしながら地元の方々の奉仕で建てます。設計にはその地域の風土、伝統文化、建築文化、空海を思想を活かしています。そして新たな風景が創出できれば、と考えています。小屋を通して祈り、人と人、人と自然のふれあいや支え合いの精神を持つ遍路文化の継承と広がり願って・・・

小屋ですが「モノ」という建築を越え、空間 時間のなかで共感・共創・共生のもと、人の起こす「コト」の可能性を体現しています。

これからの建築・空間の有り様を考える契機になればと思います。

【講演タイトル】小さな建物、大きな広がり - 学生と歩む宮古復興支援活動 -
プロフィール

1973年 東京都生まれ

1998年 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了

1998-2004年 (株)日建設計

2005年- 宗本晋作建築設計事務所設立

2005-2008年 京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了

2010年- 立命館大学理工学部建築都市デザイン学科准教授

日本建築学会奨励賞、関西建築家新人賞、環境大臣賞、グッドデザイン賞、
日本建築学会賞（業績賞）等受賞多数

概要

2011年から学生と一緒に宮古の復興支援活動に携わっています。変化する被災地のニーズに合わせて、「建築」という自分たちの専門性を活かしたボランティアにこだわり、継続的に活動しています。小さな建物をつくったり、「記憶のまち」と呼ぶ復元模型のワークショップを実施したり、一緒に様々な活動を組み立ててきました。その中で、活動は宮古から思わぬ場所、ラオスにも繋がります。

そもそも「建築」は、建造物だけを指す言葉ではありません。つくる行為も対象としています。「建築」を通じたボランティア活動は、つくられる建物が小さくても、それに関わる行為が大きな広がりとなって、私たちに貴重な経験をもたらしてくれます。ここでは、小さな建物を通じた宮古の復興支援活動を紹介し、「建築」が単なる建造物ではなく、「人間の関係性を作る媒体」となることをお伝えします。